

アルファベット

1. 4線

英語のノートには、英語に慣れていない方が練習しやすいように4本の線が引いてあります。

アルファベットの形をバランス良く覚えるために、最初は、少しもはみ出さないように、きちんと書くことが大切です。

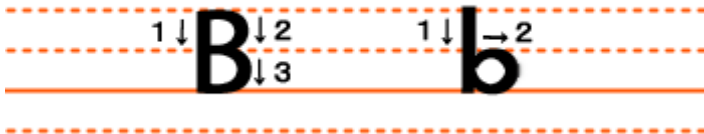
中学校の最初の定期テストでは、はみ出し部分が細かくチェックされるので、特に注意して下さい。

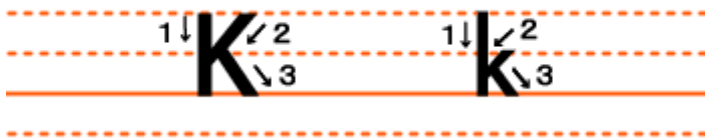
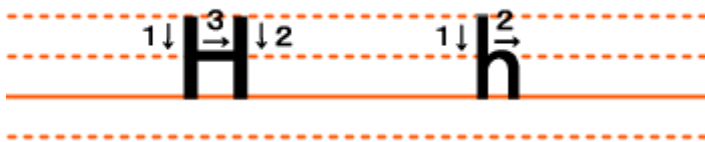
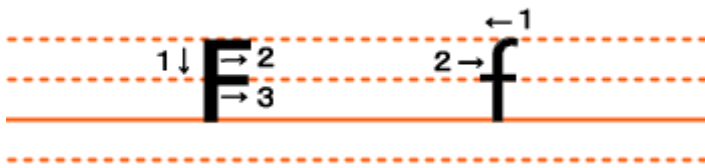
2. アルファベット

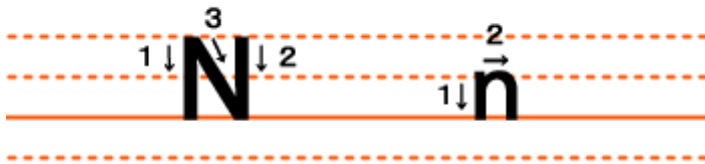
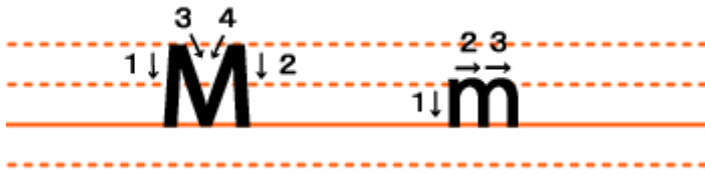
アルファベットには大文字と小文字があり、それぞれ全部で26あり、合計で52のアルファベットを覚える必要があります。

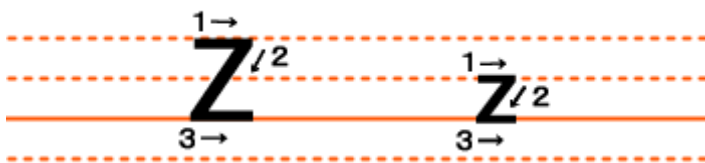
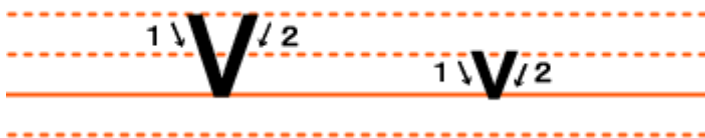
それぞれ間違えやすい部分があるので、しっかりと学習して下さい。

※決まった筆順はありませんが、参考までに載せています。もし定期テストで出題される場合は、授業で習った筆順に従って解答するようにして下さい。









3. 定期テスト対策のアルファベット

中学校の一番最初の定期テスト（1学期の中間テスト等）では、単語の他にアルファベット自体が出題されます。しかし、出題されるパターンはある程度決まっているので、ここでしっかりと学習して下さい。

1. LMN の語順

これは必ずといっていいほど出題されます。もちろん、26字の語順をすべて覚えることが大前提ですが、特に LMN の語順には注意して下さい。

2. b と d の区別

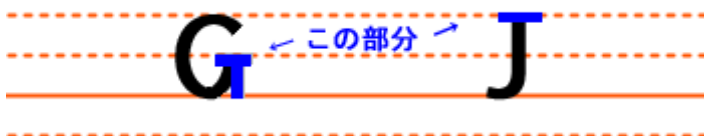
b と d を間違えて使う人がかなりいます。よくある間違いは、dog（犬）を bog（沼）にしてしまう間違いです。

3. p と q の区別

向きが反対なだけの、似たようなアルファベットなので、間違える人をよく見ます。アルファベットの q（キュー）は数字の9（キュウ）と同じ向きであると覚えて下さい。

4. G と J について

たまに受ける質問ですが、「次のように G や J を書いてはいけないのか？」というものがあります。



私はいつも、「英語としては問題がないけど、テストの解答としては間違いになる可能性があるから、英語担当の先生に確認するように。」と答えています。

特に中学校初期の英語の定期テストは、高得点者が続出します。採点する側からすると、細かい部分で×をつけるしかありません。よって、上記のように書くと×になる恐れがあるからです。

Copyright (C) 2011 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法